

## 令和 6 年度 学校運営連絡協議会 実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立板橋高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 教諭(保健庶務部主任)＝事務局長、副校長 計 2 名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、保健庶務部主任、第 3 学年主任、第 2 学年主任、第 1 学年主任、 計 10 名
- (4) 協議委員の構成  
学識経験者（大学教授）、近隣中学校長（1 名）、近隣町会会長、本校同窓会会長、本校 P T A 会長 計 5 名

### 2 令和 6 年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第 1 ～ 3 回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第 1 回 令和 6 年 6 月 28 日（金）  
内部委員 10 名、協議委員 4 名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出  
学校経営計画、前年度の学校運営連絡協議会の課題  
本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第 2 回 令和 6 年 11 月 22 日（金）  
内部委員 10 名、協議委員 5 名  
今年度教育活動に関する報告、協議委員からの質問・意見、学校評価アンケート内容の検討
  - 第 3 回 令和 7 年 2 月 7 日（金）  
内部委員 10 名、協議委員 4 名  
学校評価アンケート結果報告及び学校運営に関する提言・協議  
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第 1 回 令和 6 年 11 月 22 日（金）内部委員 1 名、評価委員 2 名  
学校評価方針の確認、学校評価アンケート実施計画の確認、同アンケート観点・項目等の検討
  - 第 2 回 令和 7 年 2 月 7 日（金）内部委員 2 名、評価委員 2 名  
学校評価アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
  - (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
- |         |       |             | R 6         | (R5)                |
|---------|-------|-------------|-------------|---------------------|
| ・ 1 2 月 | 全校生徒  | 対象： 8 5 3 人 | 回収： 6 6 5 人 | 回収率： 7 8 % ( 85%)   |
| ・ 1 2 月 | 保護者全員 | 対象： 8 5 3 人 | 回収： 5 7 5 人 | 回収率： 6 7 % ( 41%)   |
| ・ 1 2 月 | 地域・住民 | 対象： 2 4 人   | 回収： 8 人     | 回収率： 3 3 % ( 52%)   |
| ・ 1 2 月 | 教職員   | 対象： 5 1 人   | 回収： 5 1 人   | 回収率： 1 0 0 % (100%) |

#### (3) 主な評価項目

- ・ 学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、ライフワーク・バランスの推進

#### (4) 評価結果の概要

※ 生徒・保護者・教員の肯定的回答の比較

①よくあてはまる ②まああてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない

の 4 択でアンケートを行い、「①よくあてはまる」、「②まああてはまる」を肯定的回答として集計を行った。 ※数値は、今年度の割合（昨年度の割合）を表している。

- 1 私は、学校生活に満足している。（生徒）

- 生徒は、学校生活に満足している。(保護者)  
学校は、生徒の学校生活満足度を高める取組をしている。(教員)  
生徒：87.9% (74.0%) 保護者：86.6% (88.2%) 教員：87.2% (88.2%)
- 2 私は、主体的に学習に取り組んでいる。(生徒)  
生徒は、主体的に学習に取り組んでいる。(保護者)  
生徒は、主体的に学習に取り組んでいる。(教員)  
生徒：78.5% (58.3%) 保護者：63.1% (62.9%) 教員：59.5% (52.9%)
- 3 私は、授業での学習内容を理解し、定期考査等にきちんと取り組むことができている。(生徒)  
生徒は、授業での学習内容を理解し、定期考査等にきちんと取り組むことができている。(保護者)  
生徒は、授業での学習内容を理解し、定期考査等にきちんと取り組むことができている。(教員)  
生徒：77.6% (67.3%) 保護者：70.1% (69.3%) 教員：80.8% (86.3%)
- 4 先生は、生徒の学力向上を図る授業を行っている。(生徒)  
学校は、生徒の学力向上を図る授業を行っている。(保護者)  
学校は、生徒の学力向上を図る授業を行っている。(教員)  
生徒：83.8% (69.8%) 保護者：74.0% (69.5%) 教員：89.4% (80.4%)
- 5 本校の学校行事や生徒会活動は充実している。(生徒)  
本校の学校行事や生徒会活動は充実している。(保護者)  
学校は、学校行事や生徒会活動の充実を図る指導を行っている。(教員)  
生徒：88.1% (70.5%) 保護者：89.7% (84.8%) 教員：85.1% (86.3%)
- 6 本校の部活動は充実している。(生徒)  
本校の部活動は充実している。(保護者)  
学校は、部活動の充実を図る指導を行っている。(教員)  
生徒：87.4% (71.0%) 保護者：82.3% (83.0%) 教員：87.2% (90.2%)
- 7 私は、遅刻をしないように時間を守っている。(生徒)  
生徒は、遅刻をしないように、時間を守っている。(保護者)  
学校は、時間を守る指導を行っている。(教員)  
生徒：87.8% (73.0%) 保護者：83.2% (83.6%) 教員：91.5% (84.3%)
- 8 私は、高校生としてふさわしい身だしなみができている。(生徒)  
生徒は、高校生としてふさわしい身だしなみができている。(保護者)  
学校は、高校生としてふさわしい身だしなみ指導を行っている。(教員)  
生徒：95.8 (80.5%) 保護者：82.4% (88.8%) 教員：80.9% (76.5%)
- 9 私は、学校に相談したい時、気軽に相談することができている。(生徒)  
保護者として学校に相談したい時、気軽に相談することができる。(保護者)  
教職員は、生徒や保護者からの相談に丁寧に対応している。(教員)  
生徒：73.7% (60.2%) 保護者：61.9% (80.4%) 教員：91.5% (98.0%)
- 10 学校は、生徒の進路希望実現に向けた指導を行っている。(生徒)  
生徒の進路希望実現に向けた指導を行っている。(保護者)  
学校は、生徒の進路希望実現に向けた指導を行っている。(教員)  
生徒：89.2% (76.7%) 保護者：76.1% (75.9%) 教員：91.5% (94.1%)
- 11 学校は、いじめ問題解決に向けた指導を行っている。(生徒)  
学校は、いじめ問題解決に向けた指導を行っている。(保護者)  
学校は、いじめ問題の解決に向けた指導を行っている。(教員)  
生徒：83.0% (69.8%) 保護者：71.7% (72.7%) 教員：91.5% (94.1%)

- 12 学校は、体罰根絶に向けた指導を行っている。(生徒)  
学校は、体罰根絶に向けた指導を行っている。(保護者)  
学校は、体罰根絶に向けた指導を行っている。(教員)  
生徒：86.2%(72.0%) 保護者：83.7%(82.2%) 教員：91.5%(90.2%)
- 13 学校は、保護者と連携を図っている。(保護者)  
学校は、保護者との連携を図っている。(教員)  
保護者：68.1%(66.1%) 教員：93.6%(94.1%)
- 14 オンライン学習デーには、自宅でオンライン授業に取り組むことができる。(生徒)  
オンライン学習デーには、生徒は自宅でオンライン授業に取り組むことができる。(保護者)  
学校は、生徒が自宅でオンライン授業に取り組むことができる体制を整えている。(教員)  
生徒：92.2%(72.7%) 保護者：84.6%(73.9%) 教員：63.8%(60.8%)
- 15 学校は、教職員のライフ・ワーク・バランス実現のため、学校閉庁日の設定、勤務時間の複数割振り、校務支援システム・部活動指導員・テレワーク導入等、業務の効率化を推進している。  
(保護者)  
学校は、教職員のライフ・ワーク・バランス実現のため、学校閉庁日の設定、勤務時間の複数割振り、校務支援システム・部活動指導員・テレワーク導入等、業務の効率化を推進している。  
保護者：84.4%(77.6%) 教員：57.5%(47.1%) (教員)
- 16 授業外（補習予備校なども含む）での1日の平均学習時間（定期試験前を除く）は次のうち、どれですか？(生徒)  
お子様の、授業外（補習や予備校なども含む）での1日の平均学習時間（定期試験前を除く）は次のうち、どれですか？(保護者)
- |                    |                 |                  |
|--------------------|-----------------|------------------|
| 3時間以上              | 生徒：4.1%(5.5%)   | 保護者：4.0%(3.4%)   |
| 1時間以上3時間未満         | 生徒：11.0%(9.4%)  | 保護者：20.2%(21.6%) |
| 30分以上1時間未満         | 生徒：12.3%(7.5%)  | 保護者：17.4%(15.5%) |
| 30分未満              | 生徒：7.2%(7.4%)   | 保護者：8.5%(9.5%)   |
| 定期試験前のみ自宅で学習する     | 生徒：54.3%(44.3%) | 保護者：43.6%(41.7%) |
| 定期試験前もほとんど自宅学習はしない | 生徒：11.1%(10.8%) | 保護者：6.3%(8.3%)   |
- 17 特別進学クラスについてどう思いますか？(複数回答可)(生徒)  
特別進学クラスについてどう思いますか？(複数回答可)(保護者)
- |                 |                 |                  |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 大学進学に有利         | 生徒：19.4%(25.1%) | 保護者：33.2%(39.7%) |
| クラスが落ち着いている     | 生徒：25.0%(29.7%) | 保護者：20.5%(19.0%) |
| クラスに勉強する雰囲気がある  | 生徒：28.3%(32.7%) | 保護者：30.1%(35.1%) |
| 他のクラスより授業進度が速い  | 生徒：12.0%(15.4%) | 保護者：6.7%(12.1%)  |
| 他のクラスより授業内容が難しい | 生徒：15.3%(15.4%) | 保護者：9.5%(12.1%)  |

【地域】 A そう思う B ややそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E わからない

- 1 板橋高校の生徒は、生き生きとした学校生活を送っているようだ。  
A 0%(35.7%) B 50%(50.0%) C 25%(7.1%) D 0%(0.0%) E 25%(7.1%)
- 2 板橋高校は、学校行事や部活動に活気があるようだ。  
A 12.5%(57.1%) B 37.5%(42.9%) C 25%(0.0%) D 12.5%(0.0%) E 12.5%(0.0%)
- 3 生徒は、高校生としてふさわしい身だしなみができていると感じる。  
A 12.5%(21.4%) B 25%(57.1%) C 12.5%(7.1%) D 50%(14.3%) E 0%(0.0%)
- 4 学校は地域の意見や要望を取り入れ、適切に対処している。  
A 12.5%(28.6%) B 12.5%(14.3%) C 25%(14.3%) D 25%(7.1%) E 25%(37.5%)

5 板橋高校は、教職員のライフ・ワーク・バランス実現のため、学校閉庁日の設定、勤務時間の複数割振り、校務支援システム・部活動指導員・テレワーク導入等、業務の効率化を推進している。

A 0%(21.4%) B 12.5%(35.7%) C 0%(7.1%) D 0%(0.0%) E 87.5%(35.7%)

アンケートは生徒、保護者はClassiで、地域は紙面を用いた。アンケートをWebで実施すると一般に回答率が下がる傾向があるが、保護者は昨年度の1.5倍の回答があった。生徒、地域の回答率は減少した。

昨年度との比較では、生徒からの評価はすべての項目において高くなっている。とくに「学習に主体的に取り組んでいる」が20.2ポイント増、「自宅でオンライン授業に取り組むことができる」が19.5ポイント増であった。一方、保護者の「学校に相談したい時、気軽に相談することができる」が18.5ポイント減であった。

- 1 生徒の満足度が大きく向上している。体育祭や文化祭が感染症対策の制限なく開催されたことも要因と考えられる。保護者、教員は横ばいであるが、80%代後半の高い評価である。
- 2 生徒の評価が大きく向上している。1年生の入選倍率が高く、学習意欲の高い層が入学していることが考えられる。しかしながら授業外時間での学習時間の回答を見ると、定期試験前以外に学習する生徒は減少していることから、あくまで自己評価に過ぎないと考えられる。保護者、教員の評価は生徒に比べると低いため、主体的な自学自習への期待が伺える。
- 3 学習内容の理解度が高まってきている。わかる授業、生徒の興味・関心を高める授業を引き続き推進していく。
- 4 三者とも評価が向上している。ICT機器を活用した授業の工夫、一人1台端末を活用したWebテストや学習動画視聴等の自学自習支援、教員と生徒の問答の工夫による対話的で深い学びの実践等、生徒に育みたい資質や能力を明確にした指導方法の工夫による成果と考える。
- 5 感染症対策による制限のない学校行事や、生徒主体で開催された生徒総会や生徒会役員選挙、また日頃の生徒会の活動が生徒からの評価を向上させたと考えられる。
- 6 保護者、教員の評価は横ばいだが、生徒の評価が高い。陸上競技部の活躍等、大きな成果を上げた部活動の印象が強いことも要因の一つと考えられる。
- 7 教員はチャイム始業を実施し、遅刻の減少に力を入れている。一方、遅刻する生徒の固定化がみられており、家庭の協力を得ながら、さらに遅刻指導を進めていく必要がある。
- 8 生徒の肯定的評価が95.8%と、保護者・教員と15ポイント近くの差がある。身だしなみの整っていない生徒層からの回答自体が少なかった可能性もあるが、子どもと大人の間に身だしなみに関する認識の違いがあるのかもしれない。今後も生活指導部を中心とした組織的・継続的な指導に取り組む必要がある。
- 9 コンディション・レポートやClassiの通信機能を併用し、生徒のメンタルヘルス管理、健康観察に取り組んでいることが、生徒の肯定的評価を13.5ポイント向上させたと考えられるが、保護者の評価は19.5ポイント下降している。欠席連絡を電話からClassiに変更していることから、電話連絡時の会話の機会が減っていることも、要因として考えられる。
- 10 学校推薦型選抜、総合型選抜で行われる面接や小論文の指導に全教員が当たっている。このことが生徒の評価を押し上げたと考えられる。今後は一般選抜に挑む生徒の学力向上を図る指導にさらに力を入れていく必要がある。
- 11 日常の生徒観察や年間3回のいじめアンケート実施を通して、いじめを見逃さない取組を行っている。
- 12 日常の校内研修を通して生徒への体罰・暴言の禁止を徹底するとともに、教員の人権感覚向上に努めている。
- 13 紙面で配布するお知らせ等が保護者の手元に届かないことがあるのでClassiでの配信を併用するなど工夫している。一方、三者面談等を増やしてほしいとの要望もあることから、より緊密な情報交換の場を設定していきたい。
- 14 今年度で全学年に一人1台端末が整備された。これにより日常的に端末の利用をすることになり、オンライン学習デーの家庭での端末利用も大幅に増加した。
- 15 保護者には学校の各種取組が周知されている一方、地域には知られていない。各種取組について教員の理解や活用が進むことが、教員の肯定的評価の増加につながっている。
- 16 30分以上の学習をしていると回答した生徒は27.4%に対し、保護者は41.6%であった。親が思っているよりも子どもは勉強していない、との結果であった。昨年度も同様の傾向がみられた。しかし、30分以上学習生徒の割合は昨年度よりも5ポイント増加しており、学習習慣の定着が向上傾向にある。
- 17 大学進学に向けた学力向上、互いに高め合う学習集団の形成を意図した特進クラスの運営に引き続き、取り組んでいく。

地域

昨年度よりも全体的に肯定的評価が下がった。とくにライフ・ワーク・バランスの質問は「わからない」との回答が 87.5%を占めた。校外の掲示板等でお便りを掲示するなどのアナログ的な広報が地域には効果があると考えられる。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

##### （1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学校の外から見えづらくなっている生徒の様子や教育活動について理解と共感、要望や課題を確認する貴重な情報交換の場となった。
- ・生徒による近隣清掃や挨拶運動など、地域社会から好意的な声が上がっていることを再確認することができた。一方、身だしなみや登下校時の生徒の様子について、地域からの要望を聞くことができた。
- ・本校の教育活動についての意見交換と、学校評価アンケート結果についての分析や考察により、学校の取組みの成果と今後の方向性が明確になった。

##### （2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・進路指導については、生徒の実態や特性に応じて総合型選抜や学校推薦型選抜に対応することができたが、一般入試に対応する学力の向上を、より組織的に推進する必要性を確認した。
- ・生徒の実態に応じて、同窓会やPTA等と連携した進路講演会やワークショップを実施する等、系統的なキャリア教育を推進する必要がある。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

##### （1）学校運営

地域行事や地域防災訓練に参加したり、学校で実施する防災訓練で町会等とタイアップしたりする等、地域と一体となった学校経営に取り組む必要がある。

分掌内外で教員が協力していく機運を醸成し、学校組織力の向上を図る。

##### （2）学習指導

「生徒に考えさせる」指導を推進し、授業での生徒への発問と生徒からの発言から「何ができるようになったか」を意識して授業改善を図っていく。また、自学自習をいかにして習慣付けていくか動機付けを工夫する。

##### （3）特別活動

生徒の主体的な取組を行わせるために、教員がこまめな指導・支援が必要である。いかにして生徒への動機付けをしていくかを試行錯誤していく。

##### （4）生活指導

身だしなみ指導の推進により、規律を意識して生きていく力を心がけさせる。

生徒には自律を教え、褒めて個性を伸ばす、探究学習を充実させ、生徒の自律の芽を育てる。

学校の教育相談体制は整備されてきた。生徒からみて相談できる先生にアクセスしやすい体制を構築するとともに、保護者への理解の輪を広げていきたい。

##### （5）進路指導

系統的なキャリア教育を推進し、生徒が自身の適性を踏まえた選択に資するよう、学校としての体系的な取組を行っていく。

第一希望実現に向けての組織的な体制を更に改善し、個に応じた指導の更なる充実に努める。

##### （6）健康・安全

ライフ・ワーク・バランスについて、引き続き業務の効率化を推進していく。

#### 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

##### （1）協議委員人数 5人

##### （2）学校が良くなったと答えた協議委員の人数

| そう思う | 多少そう思う | どちらとも言えない | あまりそう思わない | そう思わない | 分からない | 無回答 |
|------|--------|-----------|-----------|--------|-------|-----|
| 4    | 1      | 0         | 0         | 0      | 0     | 0   |

#### 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】なし

#### 8 その他

- ・生徒のアンケート回収率をより高めるため、LHR等を利用して担任からの働きかけを強化する。
- ・地域への情報発信の機会として、ホームページの充実はもとより、校舎外側に掲示板を設置するなど掲示物による情報発信を推進する。